

田中健路

助手 博士(理学)

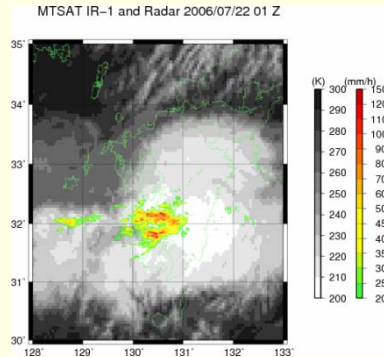
ktanaka@kumamoto-u.ac.jp

研究のキーワード

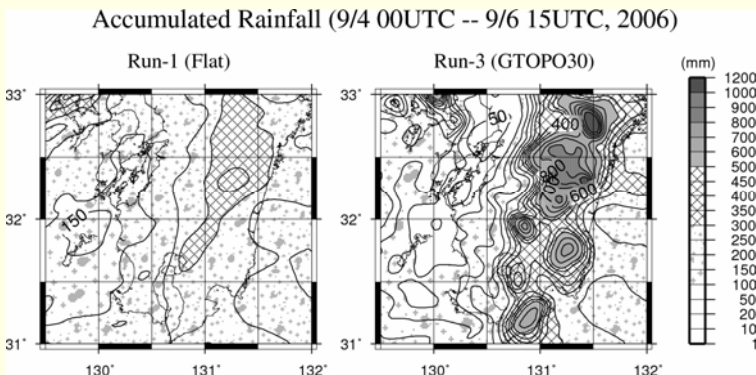
気象, 気候, 台風, 集中豪雨, 接地境界層, 観測
(乱流渦相関法), 大規模数値計算

災害をもたらす気象現象のメカニズム解明に向けて

近年、台風や梅雨前線などにより、時間雨量100mm, 累積雨量1,000mmを超える局地的・持続的大雨をもたらす気象現象が頻発化しています。海洋・陸地地形などの大気下層の複雑分布による、大雨・突風などの局在性について、地上観測・高層観測・数値計算など多方面から解析を行っています。



2006年7月集中豪雨: 静止気象衛星(MTSAT)赤外画像と気象レーダー強雨域の合成画像

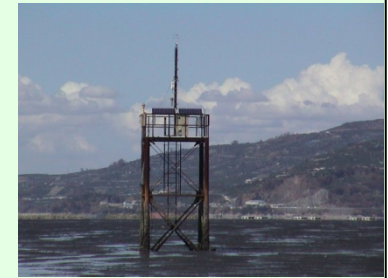


2005年台風14号の大雨に関する大規模数値計算結果の例: 九州山地を考慮に入れた場合(右)と平坦な地形とみなした場合とで生じる雨量分布の違い

研究課題等

- [A] 台風・集中豪雨など災害を伴う気象現象に関する調査・研究
- [B] 地表面における熱エネルギー収支・温室効果ガスフラックスの高精度・長期観測
 - ・無人観測システム(右下写真)の構築
 - ・森林, 農耕地, 沿岸域各種生態系に対応
- [C] 国際水準の品質管理に基づく観測データの公開

URL: http://data.eol.ucar.edu/master_list/?project=CEOP/EOP-3/4
(チベット高原の観測データ)



企業の皆様へ

熊本で活動する数少ない気象学の専門家の一人として、気象観測, データ解析・品質管理, 並列計算機システム構築による大規模数値計算まで幅広いニーズに対応いたします。